



地区広報

おやまだ

第 27 号

平成 19 年 3 月 20 日



大にぎわいの地区文化祭 パザーは大盛況でした (小山田地区市民センターで)

出会いは人生の宝物

今の時代(物)や(金)には恵まれ誠にありがたい時世です。

その反面自分中心に気ままに生きる人が多いのではないのでしょうか。

思いやり、助け合いの心がだんだん薄らいでいくように思います。小山田地区では団体活動は活発で共同精神が大切にされているように思います。この上ない宝物ではないでしょうか。

心の通った地域作り考え方を一人一人の意見活動の中で連帯意識を保ちながら取り組んでいきたいと思えます。

文化広報部長 北尾 喜子

主な内容

- P
- 2・3 特集「防災」
- 4・5 おやまだトピックス
- 6・7 小山田広場・文芸コーナー
- 8 人権ひろば・クイズコーナー

災害はいつ、どこで起きるかわかりません。東海地方から西側では近い将来、大地震が発生すると予想されています。小山田地区では、東海、東南海地震が発生したら、震源に近いことから、大きな被害が予測されています。被害を最小限に食い止めるため平素から訓練や準備をしなければなりません。みなさんはどんなことをしておられますか。声を特集しました。

阪神淡路大震災の教訓

山田町 平尾 充子

震災当日、阪神に住む叔父夫婦、従兄弟に、何度電話を掛けても通じず、日付けが変わるころ「皆、無事なので安心して」と従兄弟から連絡が入りました。マンションの玄関ドアが開かず、テラスから避難したそうです。

数日後、姉夫婦とリュックに缶詰や食料を詰めて見舞に行きました。大阪に近づくと倒壊した家、傾いた建物が目に入り、本当に地震があつたのだと実感しました。叔父の家まで歩く間、日本家屋が押しつぶされている。直径2mほどの庭石が道路にころがっている。家の回りの土塀が全部ベッチャンコに。阪神高速道路が橋桁から落ち、斜めになっている。家の敷地と道路の間には2mほどの深い亀裂ができ、下が見えている。屋上からの町並は、なんとブルーシートの掛かった屋根が至るところに見える。帰り道に気が付いたので、公園には簡易トイレが用意され空き地にはトイレットペーパー、紙おむつが野積みされ、急場の公衆浴場が開設され、ボランティアの受付所も見られました。

震災に遭われた人の恐怖心、悲しみはなかなかいやされないうえ、日本は即救援の手が差しのべられありがたいことだと思えました。

もし震災にあって自分が無事なら、

ボランティアとして皆さんのお手伝いが出来たらと思っています。

災害図上訓練DIGに参加して

小山町 里中 俊雄

今回災害図上訓練に参加して、最初に感じたことは、案外自分の住んでいる町の危険な場所、危険な行動など、あまり意識してないことに気づきました。

私たちは、各町内の災害発生時に先頭に立ち、被害を最小限度に導く責任があるのですが、情報の収集手段から避難勧告が出たときの避難所までの経路、避難体制、その組織、またその災害時に起こる住民対応、また、予想もしない出来ごとに対する対処の仕方など、いろいろな問題点があることに気づかされました。

私は、小山町に住んでいます。私たちが気づくところは、順番に修理、補修、対策を取っているのですが、今、騒がれている、東海地震、東南海地震、また、異常気象による大型台風、大雨など、考えれば限りはありません。今回小山町として、非常災害時の告知手段の一環とした、監視カメラ、町内放送設備と非常押しボタンを小山町内十箇所に配置しました。この施設は、高齢化に伴う、老人の徘徊また子どもなど弱い者への非常時対策も兼ねています。私たちの町（小山町）でも、会社に勤める人が多く、で仕事を

人が少なくなってきたいます。その働きに出てくる人が安心して、働ける環境作りも、必要だと思っています。

今回の訓練に参加をして、気づいたのであれば、これから必要になるのではと思うだけでなく、いまから、行動する必要があると感じました。今後、私たち、自治会としても、早急に、防災組織の充実とともに住民の皆さんの災害時における対応意識の向上の為に、繰り返し伝え、いざと言うとき機能する組織作り、連絡方法など確立して行きたいと思いました。



本部のまとめをする清水正自治会長

災害図上訓練 『DIG』

D は災害 (Disaster)

I は想定 (Imagination)

G は訓練 (Game)

民生委員制度

創設五十周年記念事業と 防災活動の取り組み

小山田地区民生委員協議会長

加藤 繁

平成十九年度は、民生委員制度が創設されてから今年で五十年になり、記念事業として「災害時一人も見逃さない運動」の取り組みを全国一斉に進められることとなりました。また、本市の行政においても、東海地震、東南海地震等の自然災害に備えた防災対策が進められています。

小山田地区民生委員協議会では、これらの防災対策の一環として、行政から使用契約を取り交わした高齢者名簿をもとに、各町の民生委員が、災害時に自力で避難、移動が困難な高齢者、障害者（要援護者）などの方々のご家庭を訪問して、登録同意書（災害時に消防署、自治会、自主防災隊の使用することを承諾した書類）の作成依頼に各委員が、要援護者家庭を訪問しました。

その結果、小山田地区の要援護者対象者は、二百件近くの方々登録に同意されました。また、この登録同意された名簿をもとに、各町の自治会、自主防災隊、民生委員等の方々再度訪問して、もう少し詳細な聞き取りをさせて頂き、災害時要援護者台帳を作成致します。

この要援護者台帳は、災害発生時に、

この登録された情報を自治会、自主防災隊、民生委員児童委員及び地域支援者の皆さんに知っていただき、皆さんの安否確認や情報提供、避難支援等の見守りをして頂くこととなります。

自治会等防災関係者が調査のために、お伺いした場合、よろしくご協力をお願い致します。



非常に備える

小山町 Y 男

昔、私の母は養蚕教師をしていて、長野県木曾福島在開田村へ赴任し、新井様という昔庄屋さんをして居られた御宅へ下宿し、付近を回っていた時の話です。

新井様方では、毎日夕食時に翌日の朝食分まで御飯を炊き、半分は後で非常食として家族八人分のお握りにして、梅干、漬物を添えて竹皮に包み、水筒にお茶、水と一緒に風呂敷に包んで、枕元に置いて寝る。翌朝はそれをコンロでコンガリ焼いて食べて居られたそうです。

現在は当時と何処でも生活様式が違ふとはいえ、その非常に備える気持ちに学ぶべきではないかと常々家では皆に語り聞かせています。

大事なコミュニケーション

内山町 矢田 哲

東海地震から六十年余、そろそろやばいですね。結果から言えば三十八計、逃げるに如かず「広場へ避難するのが身を護る術と思います。平常から逃げ場を頭の帳面につけておきましょう。突発なので気持ちが動転していい行動が取れないので、平常から廻りの人たちとのコミュニケーションも大事かも。

地区全体の防災体制としては道路の問題、特に機動力を充分発揮出来る交通網が人財を救う手助けになると思います。災害の規模がわからないので、その時は声をかけ合って広い所へ逃げましょう。

今一人で住んでいます。老婆心ながら考えていました。もう少ししたら今の若い人たちは、家族もいなくなつて誰も声をかけてくれなくて熟睡してたら先ず助からないね。適当な伴侶を見つけて世帯を持ちなさい。一人で家の下敷きで焼死なんて、ああ恐ろしい。

今年春が早そうです。まもなくあちこちから花の便り、いい季節が来ます。災害にもよりますが、何かの時は助け合って安全な所へ逃げましょう。家族の大切さがわかると思います。防災は一人一人の心の中から、自分のことです。



和無田ふれあい2006

和無田町自治会長 中田 正

焼き鳥の匂いと、煙が立ち込めています。和無田ふれあい2006の会場です。フランクフルト、うどん、味噌汁等メニューも豊富です。又婦人会のメンバーの味付けはすばらしい。そして町民が一同になつて話をしながら食事、なおさらおいしい。おかわりする人続出です。

隣のテントでは「楽市楽座」が開かれ、野菜、豆類、りんご、ミカン、花、工芸品等が、出品販売されています。

又、近年防災意識の高まる中、県防災対策室の協力を得て、地震体験車「そなえちゃん」に乗り込み、震度7の体験をしました。

町内の横のつながりが益々重要になりつつある今日、このふれあいの行事を通じ、より良い地域の発展につながればと思っています。



震度7を体験する和無田町民

ピットメ

期待の町別リレースタート



鹿間町が選手宣誓!



おめでとう!
堂ヶ山町優勝パレード



元気いっぱい、
小山田サッカー少年団



運動会



鼓笛隊の演奏が響きます



さ~くら咲いたら、1年生♪



ユニフォームが
まぶしい!!
小山田野球少年団



ふれあいフェスティバル



全員合唱♪みんなで手遊び

おやまだト

親子ふれあい Day

In グリーンランドあさけ



視察研修



皆さん今日もお疲れさま！
みんなで、肩を揉み合いっこ

「やんちゃ和尚」こと
廣中 邦充 住職

岡崎市にある西居院訪問



家庭教育講座

青少年の環境と人権

青少年育成部長 中村 寛

青少年育成活動に人権活動にと、ご支援ご協力ありがとうございます。

一月に、岡崎の西居院廣中和尚の寺へ訪問し、虐待された子、不登校の子、いじめられている子、いじめている子等々の話しを聞き、青少年が被害者になる凶悪犯罪が大きな社会問題になっている事を実感しました。

喫煙、深夜徘徊等の不良行為が年々増加していて、小山田の純な子には犯罪に巻き込まれやすい環境になっています。また、小山田地区にはありませんが、カラオケボックス、ゲームセンターに加え、漫画喫茶、インターネットカフェ等の深夜営業施設の増加により青少年の取り巻く環境が大きく変わりはあり、家庭だけで、子育てすることは難しいのが現状です。

今、いじめによる自殺が頻繁に起きています。青少年は感情の起伏が激しく、限度を知りません。無視、差別、偏見、ねたみが高じればいじめの要因になります。青少年の言葉や態度がおかしいなあ？と思ったら早いうちに同じ目線で話し合い、悩みを聞きだしてやり、家族、学校がもっと親密な相談相手にならないと問題解決にはなりません。青少年が、心豊かな成長と人権や環境を整え支援し、家庭(家族)、学校、地域等の広域的連携が必要だと思います。いい環境でいい人と人のつながりを作り上げて下さい。

最後に皆さん知っていますか？

三重県青少年健全育成条例が改正されました。(平成十七年七月一日)

◎深夜に正当な理由以外に青少年を連れ出し、同伴(連れ歩き)し、留める行為の禁止。(改正前は自衛)深夜とは午後十時から午前五時までとする。

◎深夜営業施設の営業者は青少年に対し帰宅を促さなければならない。また、入場させてはいけない。(改正前は注意をする)

他にも多数あります。

小山田の皆さん、子どもの立場になり同じ目線で正面から向き合い対話を深めましょう。また取り巻く環境を見直し、子どもたちの思いやり、感受性や自立心を育てる様に努力しましょう。

小山田広場



きつかけ

山田町 矢田 禮子

小学校の頃、国語の時間に俳句について教わったことを思い出した。

図書館で本を借り小林一茶や松尾芭蕉など有名な人の俳句をノートに書き集め、自分でも作ってみたり、又母が百人一首を教えてくれ、二人で上の句と下の句を空で言ってみたり、今思い出すと楽しい時間でした。

それから社会人になり社内では俳句の募集があつて入賞したり、標語を出したりと、今思い返しますのに、何か小さい時の一茶や芭蕉のことが少し頭に残っていてそれがきつかけで私も作ってみようと心が動いたと思います。

いたるところにきつかけはあると思います。よくテレビでもスポーツ選手にこのスポーツを始められたきつかけはなんですか？質問してあります。良いことでも、残念なことでも、それがパネとなつてきつかけを作ってくれ、前に進むことが出来ると思います。大きく世界が広がる、そんな気がします。

七ならべ

山田町 清水 延和

もうかなり前のことになるが、川柳に凝つて、あちらこちらの句会に出ては、大活躍？していた頃、こんな句に出会ったことがある。

意地悪の 順に勝つてる

七ならべ

着眼も面白いし、なかなか良くできた句であると思う。

私がまだ会社員だった頃、昼の休みによく七ならべをやっている女性グループがあつた。側で見ていると、いちばんよく勝つのは、意地悪では誰にもひけをとらない？女性だったように思う。

どう仕様もないカードばかりが来ているようなのに、いつの間にか彼女があちらを止め、こちらを止め、ひとりつぶれ、ふたりつぶれ・・・最後に彼女がニヤリ。

私も仲間に入れて貰ったことがあつたが、どうしても勝てなかった。

「あれっ！？あんなに良いカードを持つていて、もうダウンしたの。」と、不思議がられてばかりいた。

おそろしく私は意地悪に全く縁がなく、人が良すぎるのが敗因（本当ですよ）だったのだろうか……いまとなつてみるとなつかしい思い出である。

掃除

堂ヶ山町 平山 裕子

先日、開かずの部屋を掃除しました。前から気になつていたので、なかなか手を付ける勇気がなく、ずっとそのままにしてあつた部屋です。

子ども部屋を確保する為、この際、要らない物は捨てて片付けようと主人と話し合いました。

半日がかりで、ようやくすっきりし、キレイになった部屋を見ると、なんだかとても良い気分です。一日に何度もその部屋を見ては喜んでいました。

掃除をしていて感じたのですが、「なんでこんなに物があるの〜」と。確かにその時々が必要だと思つて買った物ではあるのですが……。余程、必要かどうか考へて買わないと無駄になつてしまふんだと。

それは、私にとつても言えることで、何が大切で必要なのか、よくよく考へて、シンプルに清々しく過ごしたいと思ふ今日この頃です。

その昔ピカピカの
一年生でした

内山町 矢田 哲

思い返して見ると小学校に上がつてから七十年になります。入学式に桜満開でした。四月の四日、貰った教科書の一頁薄桃色の桜景色に「サイタサイタサクラガサイタ」感激、公式文字にふれた瞬間です。寺本校長先生、担任は矢田カズ先生、校庭の大木の桜が満開でした。

風に花ピラが吹き上がったたり吹き降りたり感激、松葉に花ピラを刺して遊びましたね。やがて毛虫の季節が過ぎると、青葉がいい木陰となつていい遊び場だった。桜んぼの実がたくさん落ちて紫色の実を食べた様な気もする。当時は花から実がなるのがちよつと不思議だったが、四年生で理科を習つたので合点がいった。虫メガネとピンセットで花の雄シベ雌シベを習つてこれも大感激、実の発生の意味がわかった。

四年生の後半父の生まれた内山町へ住居が変わつたが通学路は変化があつて内山町の方が楽しかった。小林町との境の清谷の桜はきれいでした。

その父の自家の法事で住職の読経の間、小学校に上がった時のことを思い出していました。（小学校で帳面鉛筆は僕等が最初です。石筆石版から帳面になりました。）

今年は暖冬で桜の開花も早そうです。桜の花にはいい思い出ばかり、今は桜の名所がたくさん出来て至る処で花祭りが行なわれるでしょう。

法事も終わって七十年の年月が長いかわからないが、年寄りがいなくなつたのは事実。有難う、元気で先祖様の法事に参加させてもらって、健康第一ストレスを溜めないように。しかし子どもの頃は良かったなあ。お世話になつた叔父が去つて二十何年とはちよつとセンチになつたみたい。何とか美まし国になつて欲しいです。

鹿間町合併して五十年

分村したその訳は

鹿間町 萩 伸元

鹿間町は、今年四月十五日、鈴鹿郡三鈴村(旧久間田村)から分村し、四日市市に合併、小山田地区に編入して五十年の節目を迎えます。

村民が一丸となり、円満に四日市市への合併を願っていたにもかかわらず、村を二つに割つた最悪の波乱に満ち、苦難を乗り越えて勝ち取つた歴史がありました。

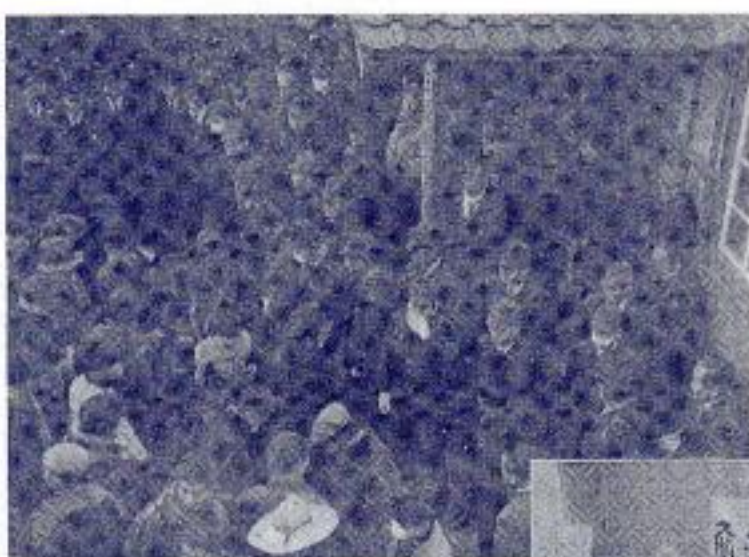
希望を最後まで貫き通した心意気は末代までも語り継がれています。

昭和三十二年、町村合併促進法により、すでに四日市市との合併が村議会で議決されていました。しかし、ある県議会議員が、自分の地盤に固執し、

強引に鈴鹿市へ合併させようとしたため、鹿間が民意を無視した行為と猛反発。和無田も加わり、県下にも、よく知られた分村騒動に発展したのでした。

これに先だつて、四日市市主催の「大四日市建設座談会」が昭和三十一年二月十一日、尾上町の労働会館で開かれていました。

久間田村の仲田辰己村長(岸田町)も招かれていました。会議録は、仲田辰己村長「われわれ合併希望村と致しましては、四日市と合併して、苦楽を共にしたい固い決意を持っています。四日市からの、よい返事を全村民が待望しています」と発言、懇願したようですが記録されています。



▲久間田村鹿間の決死ハンガーストライキ(県庁にて)

合併を祝って鹿間をわり歩く山車を

文芸

短歌

菩提寺の 上に昇れる 初日の出
若水汲みて 無事を祈らむ

吾子の名も 忘れ去りたる 勇にして
感謝の言葉 今も忘れぬ

静もれる 部屋にほころぶ 紅梅に
目を細めたる 寝たきりの母

俳句

残照に 映ゆる雪山 暮れ泥む

春隣 地下の騒めき 始まりぬ

山茶花の 花の別れや 花筵

川柳

泥濘に 足を取られて 助け舟

老い先は ロボット介護
気にかかる

短歌・俳句・川柳

小山町 西口 光代





満員の人権落語（びあホールで）



心豊かなまちづくり

小山田地区人権・同和教育推進協議会
副会長 須藤 めぐみ

小山田地区人権・同和教育推進協議会は、いろいろな差別をなくすために、人が人として認められる人権が尊重される地域社会を目指して活動しています。人権ビデオ学習会・講演会・研修会・人権標語募集・啓発事業などが行なわれ、これらの活動を通じて人権の大切さ・理解を深めて頂こうとしています。

十八年度は、四日市人権・同和教育研究大会が八月にありました。この大会では、小山田地区の活動内容の発表をし、他地区の方々より、運営方法や活動について、活発な意見を頂きました。

一月には、西南ブロック人権ひろばがありました。夏に募集した人権標語百三十点余りの中から、入選・佳作を選んでの表彰式。人権落語で改めて命の大切さを感じる講演となりました。人権は部落差別だけではありません。

- ◎すべての子どもがのびのび遊び、学び、育っていくことが出来る子どもの人権まちづくり
- ◎高齢者も安心して暮らせる
- ◎平等な権利を認め合う男女の人権の尊重

等いろいろあります。小山田地区全体で人権に対する意識を高め、誰もが心豊かなまちだと実感できるように広めていきたいと思えます。



地区の人口

(平成19年1月現在)

町名	世帯数	人口		合計
		男	女	
山田町 (老人施設を含む)	753	754	971	1,725
鹿間町	303	412	430	842
西山町	222	334	350	684
小山町	171	268	279	547
堂ヶ山町	135	222	244	466
和無田町	123	189	187	376
内山町	59	88	99	187
六名町	54	87	82	169
美里町	58	84	82	166
合計	1,878	2,438	2,724	5,162

あとがき

三寒四温と申しますが、早春の息吹を感じる今日このごろです。平素は文化広報部発展の為に協力を賜りましてありがとうございます。参加することによって多くの人に出会い学ぶことが出来ました。連合自治会長の萩伸元さんを中心に全会員さんのご協力を賜りましたこと、心より厚くお礼申し上げます。

お忙しい中、ご投稿いただいた皆様には心よりお礼申し上げます。

文化広報部長 北尾 喜子

おやまだクイズ
チャレンジ!!

- ① 災害図上訓練「DIG」のGの意味は？
- ② やんちゃ和尚こと廣中邦充住職は何市に住んでいる？
- ③ 鹿間町は合併して何年になる？

応募方法

自分で作った用紙に、住所・氏名・答えを記入しセンター入口の応募箱に入れて下さい。

- ☆締め切り 4月27日(金)
- ☆正解者の中から抽選で10名に賞品が当たります。
- ☆当選者は賞品の発送をもってお知らせします。